広報
けせんぬま・もとよし広域

2020.3.15
No . 69

最優秀賞:「桃色だるま」(サンオーレ袖浜)
阿部　文子さん(登米市)

優秀賞:「暮れる気仙沼港」(気仙沼湾)
村上　宏之さん(気仙沼市)

優秀賞:「安らぎの夕景」(徳仙丈山)
三浦　明彦さん(登米市)

※「題名」(撮影地)
氏名(住所)の順

第4回 気仙沼・南三陸 フォトコンテスト入賞作品決定!!

※入賞作品21点は、4月19日(日)までリアス・アーク美術館で展示されています。

発行／気仙沼・本吉地域広域行政事務組合(気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2)　TEL／0226-22-9111

佳作

※「題名」（撮影地）氏名（住所）の順

「ここが校庭であったこと。」
（小原木中学校第２グラウンド）
吉田　安珠さん（仙台市）

「傳法寺の枝垂れ桜」（常楽）
佐藤　均さん（気仙沼市）

「未来に残したい、私たちの今」をテーマに気仙沼市・南三陸町で撮影された写真を対象とした、当組合主催のフォトコンテストの入賞作品が決定しました。今回は、三十七人の方から「風景部門」に四十七点、「暮らし・日常部門」に三十四点、計八十一点の作品をご応募いただきました。

審査は、一月十七日に気仙沼・本吉広域防災センターで行われ、審査委員長でプロカメラマンの斎藤秀一氏（斎藤秀一写真事務所・仙台市在住）より、「例年に比べ応募点数が少ないながらも、全体的に写真のレベルが高かったと感じた。一枚一枚の中身が濃く、バリエーションが豊富で選考に苦労した。」との総評をいただいております。

「気嵐のなか入港」（南町海岸）
大井　憲一さん（気仙沼市）

「鎮守の森で村祭り」（入谷）
小檜山　裕行さん（角田市）

「魚市場の朝」（魚市場）
村上　淳さん（気仙沼市）

「秋波」（鳥さんに食べさせないよ！）（赤岩小田）
菊田　清一さん（気仙沼市）

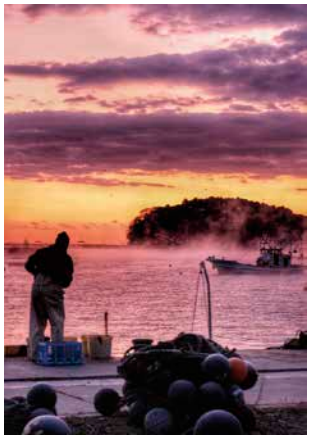
「鋼の城」（気仙沼市）
鈴木　孝太郎さん（愛知県犬山市）

「橋の思い出」（志津川 八幡川）
髙村　智一さん（栃木県鹿沼市）

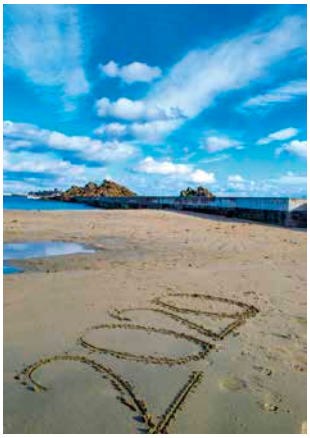
賞候補

※「題名」氏名（住所）の順

▽「祭りの子供たち」小檜山裕行さん（角田市）
▽「影絵の世界」藤原栄一さん（埼玉県春日部市）
▽「ｂｌｕｅ　ｈｏｕｒ」菊田富美さん（気仙沼市）
▽「元旦に舞う」足利義信さん（一関市）
▽「大島から望む」足利義信さん（一関市）
▽「大島大橋の夜明け」菊田清一さん（気仙沼市）
▽「打囃子　山車が行く」藤島純七さん（仙台市）
▽「ヤマセに霞む亀山」佐々木宏明さん（気仙沼市）



「気嵐」（南三陸町）
小野寺　清春さん（南三陸町）

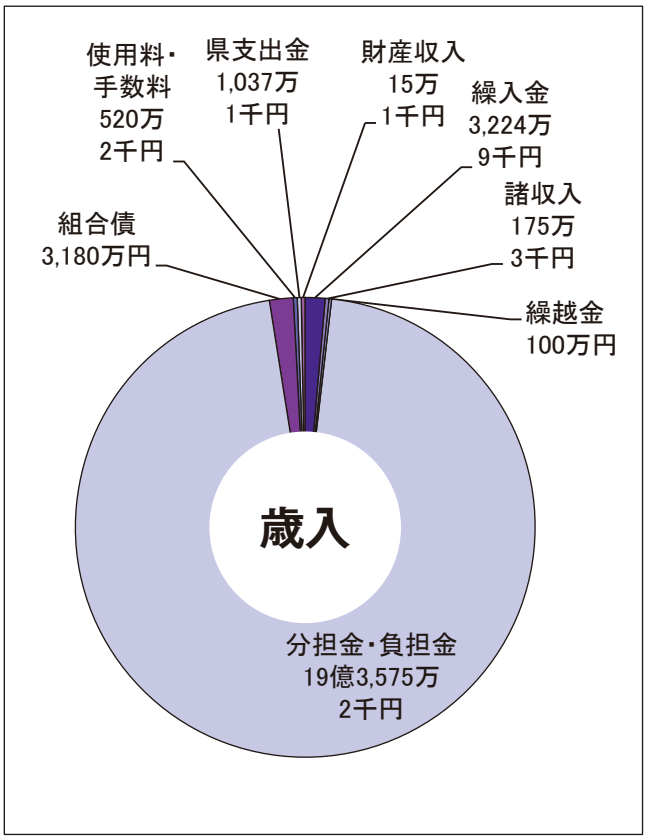


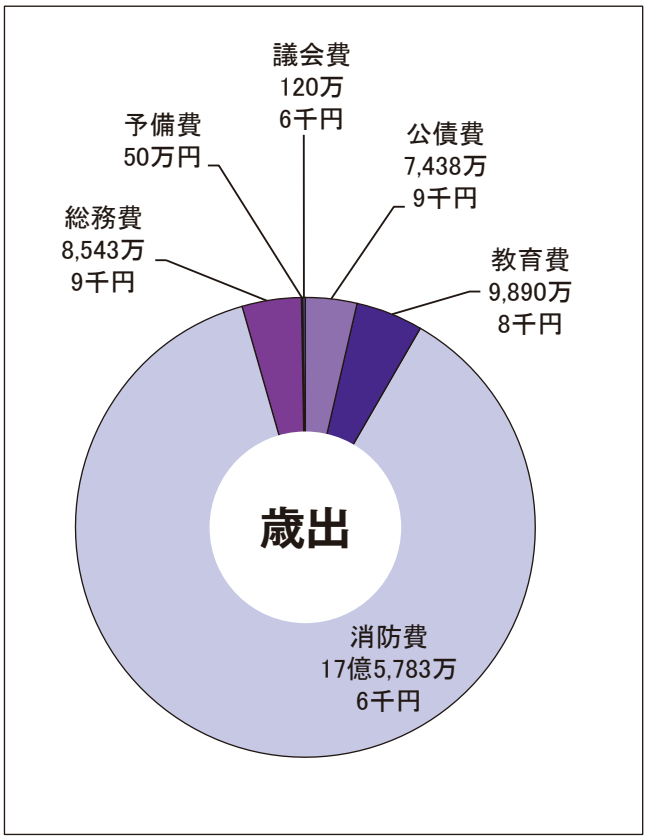
「始まり」（日門海岸）
内海　凌成さん（気仙沼市）

令和２年度　予算の概要をお知らせします

総額　20億1,827万8千円

令和2年2月19日に開かれた第214回組合議会定例会において、『令和2年度一般会計予算』が原案のとおり可決されましたので、そのあらましについてお知らせします。





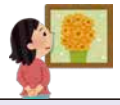
歳出の主な内容

議会費　120万6千円（0.06%）
組合議会運営費

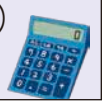
総務費　8,543万9千円（4.23%）
一般事務費、計画策定費、
リアス・アーク美術館企画展等

消防費　17億5,783万6千円（87.1%）
防災・消防・救急活動費・施設管理費等

教育費　9,890万8千円（4.9%）
リアス・アーク美術館施設管理費等



公債費・予備費　7,488万9千円（3.71%）
組合債の返済金等



※（）内は構成比

令和２年度の主な事業

○消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型取得（歌津出張所）

○高規格救急自動車・高度救命処置用資機材取得（気仙沼消防署・南三陸消防署）

○南三陸消防署仮設庁舎解体・撤去工事

○N.E.blood21　vol.74 ～ vol.77

○東日本大震災発生 10 年特別企画展調査事業

(3) 一般会計における特殊勤務手当

区分			全職種
支給実績（平成30年度決算）			178万6,100円
手当の種類（手当数）			6種類
支給職員1人あたりの平均支給年額（平成30年度決算）			1万3,329円
職員全体に占める手当支給職員の割合（平成30年度決算）			68.7%
内容	①高度救命処置手当　1回　1,000円	②救急業務手当	1回　100～200円
	③機関手当　1回　200円	④災害業務手当	1回　200円
	⑤救助業務手当　1回　200～500円	⑥救急艇出動手当	1回　200円

(4) 一般会計における時間外勤務手当

平成30年度	支給総額	3,236万6,157円
	職員１人あたりの支給年額	17万7,836円
平成29年度	支給総額	3,202万9,570円
	職員１人あたりの支給年額	17万6,959円

(5) 一般会計におけるその他の手当（平成31年４月１日現在）

区分	内容
扶養手当	1　配偶者・父母等：6,500円、子：10,000円 2　その他の扶養親族：１人につき、6,500円 3　特定扶養（満16歳～22歳までの子）： 　１人につき5,000円加算 ○　国の制度との異同：国と同じ
住居手当	1　借家・借間に居住している職員： 　27,000円を限度に家賃に応じて支給 ○　国の制度との異同：国と同じ
通勤手当	1　交通機関などの利用者： 　55,000円を限度に運賃に応じて支給 2　交通用具の利用者： 　使用距離に応じて、2,400円～32,700円を支給 ○　国の制度との異同： 　１については、国と同じ 　２については、国は2,000円～31,600円を支給

6．特別職の報酬等

（平成31年４月１日現在）

職名		区分	報酬額	職名		区分	報酬額
管理者		年額	69,000円	教育委員会	教育長	年額	48,000円
副管理者		年額	60,000円		委員	日額	7,400円
議会	議長	年額	56,000円	情報公開・個人情報保護審査会委員	弁護士知識経験者	日額	30,000円
	副議長	年額	48,000円			日額	7,400円
	議員	年額	46,000円				
監査委員	議会選出議見を有する者	日額	7,400円	地方公務員法第三条第三項第二号及び第三号に掲げる特別職の職員		日額	予算の範囲内で任命権者が定める額
		日額	8,300円				

7．職員の勤務条件、服務、研修等の状況

(1) 勤務時間（一般職の標準的なもの）

勤務時間	始業時間	終業時間	休憩時間
１日７時間45分	午前８時30分	午後５時15分	午後０時から午後１時

(2) 休暇の種類など

種類	内容
年次有給休暇	年20日付与
病気休暇	90日以内の必要な期間
特別休暇（主なもの）	結婚休暇：連続する７日以内 忌引休暇：配偶者10日、血族の父母７日など 夏季休暇：７月～10月までの期間において３日以内 産前・産後休暇：産前８週間以内の申し出た期間、産後８週間 育児時間休暇：１日１時間または１日２回、それぞれ30分
その他の休暇	介護休暇：通算して６ヶ月の範囲内で、３回を超えない範囲

(3) 育児休業の状況（平成30年度）

区分	男性	女性	計
取得者	0人	0人	0人

(4) 職員の分限及び懲戒の処分状況（平成30年度）

①分限処分

免職	休職	降任	降給	計
0人	0人	0人	0人	0人

②懲戒処分

免職	停職	減給	戒告	計
0人	0人	0人	0人	0人

(5) 職員の服務の状況

職員の服務規律は、次の条例などに規定し、公務員としての綱紀の保持に努めています。

①職員の服務に関する規則

②職員の職務に専念する義務の特例に関する条例・規則

(6) 職員の研修と勤務成績の評定状況（平成30年度）

①職員研修の実施状況

区分	受講者数（延べ数）	研修名等（人数）
宮城県消防学校	25人	・初任総合教育(3)　・初級幹部科(2) ・警防科(2)　・火災調査科(2) ・予防査察科(2)　・危険物科(2) ・救急救命士再教育講習(2) ・救急救命士処置拡大講習(8) ・救助隊員再教育講習(2)
消防大学校	1人	・火災調査科(1)
救急救命東京研修所	2人	・救急救命士養成(2)
その他（宮城県主催等）	362人	・人事評価研修(188) ・時事講演会(160) ・その他(14)
合計	390人	

②勤務成績の評定の状況

職員がその職務を遂行するに当たり、発揮した能力及び挙げた業績を把握した上で行われる人事評価制度を導入し、これを任用、給与、分限その他の人事管理の基礎とするほか、職員の人材育成や組織全体の士気及び公務能率の向上を図る目的として活用します。

8．職員の健康管理及び公務災害補償制度の状況（平成30年度）

(1) 健康診断の状況

区分	受診者数(延べ数)	内容等（人数）
総合健康診断	266人	・人間ドック(37) ・脳ドック(11) ・各種がん検診(218)
定期総合診断	347人	・法定健康診断等 春季(197)　秋季(150)

(2) 公務災害の認定状況

加入団体	認定件数
地方公務員災害補償基金　宮城県支部	４件

9．公平委員会の状況（平成30年度）

県人事委員会より報告を受けた公平委員会の業務の状況

①勤務条件に関する措置要求　：該当なし

②不利益処分に関する不服申立：該当なし

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合
人事行政の運営等の状況について

組合職員の任免、給与、勤務条件などの公平性及び透明性確保のため、地方公務員法及び組合条例の定めにより、人事行政の運営等の状況について公表します。

1．職員の任免及び職員数に関する状況（特別職を除く）

（1）職員数の状況

区　分	H30. 4. 1現在職員数（うち再任用者数）	H30. 4. 2～H31. 4. 1			H31. 4. 1現在職員数（うち再任用者数）
		退職者数	再任用者数増減	新規採用者数	
一般職	12(0)人	0人	0人	0人	12(0)人
消防職	183(0)人	0人	0人	2人	185(0)人
合　計	195(0)人	0人	0人	2人	197(0)人

（2）部門別職員数の状況

区　分		職　員　数		対前年増減数	主な増減理由
部　門		平成31年度	平成30年度		
一般行政部門	事務局	7人	7人	0人	
	美術館	5人	5人	0人	
消防部門	消　防	185人	183人	2人	新規採用者2人
合　計		197人	195人	2人	

※組合定数条例で職員の定数は211人となっている。

（3）年齢別職員構成の状況　（平成31年４月１日現在）

区分	20歳未満	20～23歳	24～27歳	28～31歳	32～35歳	36～39歳	40～43歳	44～47歳	48～51歳	52～55歳	56～59歳	60歳以上	計
職員数（人）	2	20	40	34	13	18	36	15	1	9	9	0	197
構成比（%）	1.0	10.2	20.3	17.3	6.6	9.1	18.3	7.6	0.5	4.6	4.6	0.0	100

2．人件費の状況（一般会計決算）

区　分	歳出額（A）	実質収支	人件費（B）	人件費比率（B／A）	（参考）H29年度の人件費比率
平成30年度	21億1,143万円	2,488万円	14億2,173万円	67.3%	64.6%

3．職員給与の状況

（1）職員給与費の状況（一般会計の当初予算）

区　分	職員数（A）	給　与　費				1人あたり給与費（B/A）
		給　料	職員手当	期末・勤勉手当	計（B）	
平成31年度	197人	6億8,024万円	2億671万円	2億6,881万円	11億5,576万円	587万円

※１　職員手当には退職手当を含みません。
※２　特別職に支給される報酬は含みません。

（2）職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況
（平成31年４月１日現在）

区　分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一　般　行　政　職	319,917円	365,839円	42.4歳
消　防　職	283,574円	348,216円	34.7歳
宮城県（一般行政職）	319,979円	406,704円	42.2歳
国　（一般行政職）	329,433円	411,123円	43.4歳

※平均給与月額は平均給料月額に扶養手当、通勤手当、住居手当などの手当を加えたものです。

（3）職員の初任給の状況　（平成31年４月１日現在）

区　分		初任給	区　分		初任給
一般行政職	大学卒	180,700円	宮城県（一般行政職）	大学卒	188,400円
	高校卒	148,600円		高校卒	154,000円
消　防　職	大学卒	206,900円	国（一般行政職）	大学卒	180,700円
	高校卒	167,700円		高校卒	148,600円

4．職員数等の状況

（1）一般行政職の級別職員数の状況（平成31年４月１日現在）

区分	１級	２級	３級	４級	５級	６級	７級	合計
標準的な職務内容	主　事	主　事	係　長 主　任	主　幹	副館長	事務局次　長	事務局長	
職員数	0人	2人	4人	3人	1人	1人	1人	12人
構成比	0.0%	16.7%	33.3%	25.0%	8.3%	8.3%	8.3%	100%

（2）消防職の級別職員数の状況　（平成31年４月１日現在）

区分	１級	２級	３級	４級	５級	６級	７級	合計
標準的な職務内容	消防士	消防士長	主　任 消防士長	係　長 所長補佐	出張所長 課長補佐 当直司令 主　幹	署　長 課　長 副参事 分署長 指揮隊長	消防長 参　事	
職員数	59人	45人	17人	29人	21人	12人	2人	185人
構成比	31.9%	24.3%	9.2%	15.7%	11.4%	6.5%	1.1%	100%

5．職員手当の状況

（1）期末手当・勤勉手当支給割合　（平成31年４月１日現在）

区　分	手　当　の　内　容					
期末手当勤勉手当	支給割合	区　分	6月期	12月期	年　計	増減（対前年度）
		期末手当	1.300月分	1.300月分	2.600月分	
		勤勉手当	0.925月分	0.925月分	1.850月分	0.050月分
		計	2.225月分	2.225月分	4.450月分	0.050月分
	職制上の段階、職務の級等による加算措置：5%～15%					

（2）退職手当支給率　（平成31年４月１日現在）

区　分	手　当　の　内　容					
退職手当	支給率	区　分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額
		自己都合	19.6695月分	28.0395月分	39.7575月分	47.7090月分
		勧奨・定年	24.586875月分	33.27075月分	47.7090月分	47.7090月分
	1．その他の加算措置：定年前早期退職特例措置（2～20%加算） 2．1人あたり平均支給額：0円 ※平成30年度は退職者なし					

RIAS ARK MUSEUM OF ART

リア美

リアス・アーク美術館 令和2年度の催事紹介

TOPIC

【ランドスケープ・オブ・エヌ・イー vol.6】 東北・北海道を描いた絵画 入賞作品決定！

「LANDSCAPE of N.E.～第6回東北・北海道の風景～公募展」審査会（令和元年12月16日）にて、最優秀賞と優秀賞4点が選出されました。最優秀賞は岩手県北上市在住、菊地仁美さんの「み・の・り」。黄金に色づいた稲穂が画面の4分の3を占めるとても印象的なアクリル彩作品です。いずれも次年度展覧会にてご覧いただけます。

優秀賞「回想」
村上里紗さん（北海道室蘭市・25歳）

優秀賞「2019.10.13砂鉄川・砕石場」
鈴木研作さん（岩手県一関市・34歳）

優秀賞「辺境暮らし」
後藤理菜さん（秋田県秋田市・19歳）

最優秀賞「み・の・り」　菊地仁美さん（岩手県北上市・56歳）

優秀賞「いつもの学校」
高野紗妃さん（北海道札幌市・16歳）

LANDSCAPE of N.E. 東北・北海道の風景～公募展

4月11日㈯～5月17日㈰

人間形成に大きく影響する日常的な暮らしの風景や、土地の記憶が刻まれた風景。本展は東北・北海道を舞台に、日々失われつつある風景を絵画として未来に残すことを目的に、平成20年から隔年で継続開催しています。

第6回展では入賞・入選作品と過去の入賞作品を含む約40点を紹介します。力作の数々をぜひ会場でごゆっくりご覧ください。

【観覧無料】

—開館時間—
午前9時30分～午後5時
※最終入館は午後4時30分まで

—休館日—
毎週月・火曜日、祝日の翌日
年末年始・メンテナンス休館

—常設展観覧料—
一般：500（400）円
大学生・専門学生：400（300）円
高校生：300（200）円
小・中学生：150（100）円
※（）は20名以上の団体料金

—所在・連絡先—
〒988-0171 気仙沼市赤岩牧沢138-5
TEL：0226-24-1611
FAX：0226-24-1448
Email：riasark.m@nifty.com
http://www.riasark.com

※展覧会の会期等は都合により変更となる場合があります。ご利用の際は事前にチラシやホームページ等にてご確認ください。

N.E.blood 21 vol.74・75・76・77

本展は平成14年度から続く、東北・北海道在住の若手作家を紹介するシリーズ企画です。次年度は、第74～77弾目となる4名の作家を2期に分けて紹介します。【観覧無料】

N.E.＝North Eastern（東北・北海道）
blood＝血筋、活力、気質、情熱
21＝21世紀・未来をつくる

※先着順でパンフレットを無料で配布します

2020年 前期＝6月3日㈬～7月26日㈰

- 菅原綾希子（あきこ）展 vol.74（秋田県・彫刻）
- 古田和子展 vol.75（山形県・絵画）

2021年 後期＝2月6日㈯～3月14日㈰

- 渡辺綾展 vol.76（宮城県・絵画）
- 草薙裕（くさなぎゆう）展 vol.77（秋田県・写真）

多様なアートを体感しよう！

N.E.blood21

作品募集!

好評企画第5弾!

リアス・ジュニア絵画コンクール vol.5

本企画は気仙沼市・南三陸町の小学生を対象とした絵画公募展です。テーマは「あんなこと、こんなことしたよ」。入賞者には地域商品券（大賞＝2万円分、優秀賞＝5千円分）や図書カード（佳作＝千円分）が贈られます。8月より学校を通じて募集を開始します。奮ってご応募ください！

※展覧会期は11月21日㈯～12月20日㈰です。

◎応募・観覧無料

参加者募集!

人気企画今年もやります!!

新!方舟祭2020

9月24日㈭～11月1日㈰

方舟祭（はこぶねさい）は当館主催の市民参加型文化祭です。表現活動を行っている方々の絵画・写真・手工芸等の展示を始め、楽器演奏会などの多彩な発表を週替わりで紹介します。6月初旬に参加募集を受け付けます。初めての方も大歓迎！どうぞお気軽にご参加・ご鑑賞ください。

◎応募・観覧無料

常設展

共通チケットで①②③をご覧いただけます。

①歴史・民俗資料展示「方舟日記～海と山を生きるリアスなくらし」

当地域の歴史民俗・生活文化を【食】をキーワードに紐解き、手描きイラストや写真を添えて紹介しています。

身近なイベント、年中行事などのルーツや豆知識を紹介するミニ展示「方舟漂流記」。次期は〝スポーツ〟をテーマとして展示します。

②収蔵美術作品展示

当館と関わりのある東北・北海道を中心とした美術家の作品約70点を作家紹介とともに展示しています。

③東日本大震災の記録と津波の災害史

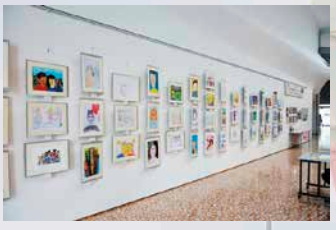
当館学芸員らが取材した記録写真と収集した被災物品に解説を添え、明治29年・昭和8年の津波災害史の資料等とともに展示しています。津波と地域文化の関係、海とともに生きる地域の未来を考えます。

貸ギャラリーのお知らせ

あなたの作品も展示してみては？

当館では絵画や写真などの展示発表会場をお貸しする「貸ギャラリー」事業を行っています。作品だけでなく小規模なパフォーマンス発表や講演会を行うステージ会場もありますので、是非ご利用ください。

貸ギャラリーに関する詳細はお問い合わせください。



過去の絵画展示の様子（エントランスホール）

方舟祭「気仙沼ストリングオーケストラ」弦楽奏発表の様子

主な展示会場区分と詳細

会場	概　要
コモンホール	展示可能幅域＝約24m（エントランスホール含） 料金＝1,000円／1日あたり●提出物＝企画書／施設使用許可申請書
ハイビジョンギャラリー	座席数＝87席 投影幕あり（PC出力からの接続が可能です） マイク使用可 ●料金＝5,100円／1日あたり（準備を含めて5時間の利用で）●提出物＝企画書／施設使用許可申請書

ワークショップから参加者募集のお知らせ

「アプラゼミ」開講!

4月から翌年3月（毎月第2・4日曜日）までの通年ゼミです。絵画を基礎から学び、油彩画を制作します。参加は無料。高校生以上が対象です。詳細についてお気軽にご相談ください。

夏休み! 親子クラフト教室

親子でものづくりの楽しさを味わうクラフト教室を8月14・15・16日に開講します。詳細は学校へ配布するチラシや7月頃の当館HPの記事をご覧ください。

【参加無料・定員8組・要事前申込】

共催展覧会（予定）

- 第58回けせもい展／9月中旬
- 気仙沼市立小中学校図工・美術作品展・ユネスコ世界児童画展／11月初旬
- 第15回気仙沼市立小中学校児童生徒書きぞめ展／2021年1月末
- 第38回気仙沼支援学校児童生徒作品展／2021年1月末

広域消防 令和元年消防統計

広域消防女性活躍推進
オリジナルキャラクター
（左）かなえちゃん
（右）みなみちゃん

令和元年の火災について
「火災による死者ゼロ」を達成

当広域管内における令和元年（平成31年）の火災件数は23件（前年と同数）で、昭和47年の広域消防発足以来2番目に少ない件数となりました。

火災による負傷者は3人（前年比3人減）となっており、死者は0人で、2年続けて「火災による死者ゼロ」を達成することができました。

火災種別は、建物火災が15件（前年比7件増）、林野火災が0件（同1件減）、車両火災が3件（同1件増）、その他火災が5件（同7件減）となっています。

出火原因別で見ると、最も多いのが「電灯・電話等の配線」と「ストーブ」（3件）で、次に「こんろ」と「ゴミ焼き」（2件）となっています。

月別では、最も多いのが4月で7件となっています。

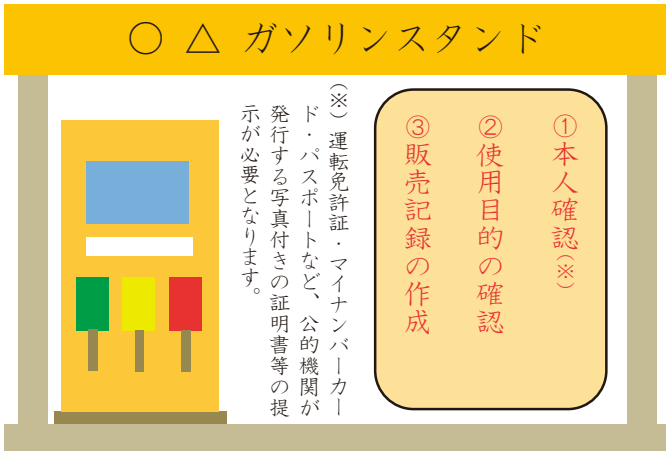
令和2年 全国山火事予防運動統一標語
『守りたい　森と未来を　炎から』

これからの季節は、空気が乾燥し風が強く、火災が発生しやすい時季です。

多くの火災は、皆さん一人ひとりの注意で防ぐことができます。大切な命や財産を守るため、火の取扱いには十分注意し、絶対に火災を起こさないようにしましょう。

ガソリン容器の詰め替え販売時の確認について

令和元年7月に京都市で発生したガソリンに起因する爆発火災を受け、令和2年2月1日からガソリンスタンドで携行缶にガソリンを購入する場合、次の3つの内容が義務づけられました。



ガソリンを悪用した放火を未然に防ぐため、皆さまの御協力をお願いします。

令和元年の救急について

昨年の救急出動は、3435件で、2995人が搬送されました。これは、一日平均9・4回救急車が出動し、圏域住民の24人に1人が救急車を利用したことになります。これらを前年と比較すると、出動件数で152件、搬送人員で57人の減少となっています。

事故種別では急病が全体の約68％、年齢別では65歳以上の高齢者が約69％を占めています。

また、傷病程度別では入院加療が必要な中等症が約46％と最も多く、次に入院加療を必要としない軽症が約36％を占めています。

救急電話相談 ご活用ください

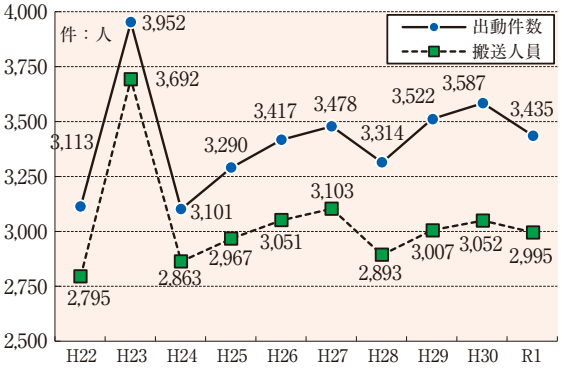
宮城県では、夜間・休日の急な病気やけがで、救急車を呼ぶべきか迷うときや、応急処置の方法が知りたいときの相談ダイヤルを開設しています。

看護師等が、受診の必要性や医療機関を案内しますので、ご活用ください。

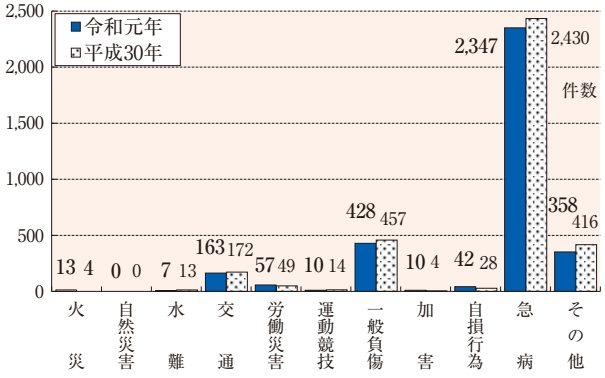
◆おとな救急相談　＃7119
平　日　19時～翌8時
土　曜　14時～翌8時
日曜・祝日　24時間

◆こども夜間安心コール＃8000
毎　日　19時～翌8時

過去10年間の救急出動の推移



事故種別　救急活動状況



気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部
〒988-0104 宮城県気仙沼市赤岩五駄鰐43番地2 TEL：0226-22-6689 FAX：0226-22-0119 メール：soumu@km-fire.jp http://www.km-fire.jp/